

平成 2 年 3 月 招 集

第 1 回 館 山 市 議 会 定 例 会 会 議 録

館 山 市 議 会

目 次

◎第1号（3月1日）

開 会	3
議長の報告	3
議案の配付	4
会議録署名議員の指名	4
会期の決定	4
会議日程の決定	4
議案第1号～議案第24号（施政方針並びに提案理由の説明）	5
延 会	20
本日の会議に付した事件	21

◎第2号（3月8日）

開 議	24
行政一般通告質問	24
日下 君敏君の質問、当局の応答	24
石井 謀君の質問、当局の応答	46
脇田 安保君の質問、当局の応答	59
永井 龍平君の質問、当局の応答	74
神田 守隆君の質問、当局の応答	88
延 会	103
本日の会議に付した事件	104

◎第3号（3月9日）

開 議	106
行政一般通告質問	106
辻田 実君の質問、当局の応答	106
田沢 勝信君の質問、当局の応答	126

生稲 隆君の質問、当局の応答	137
議長の報告	146
散 会	146
本日の会議に付した事件	147

◎第4号（3月12日）

開 議	151
議案第8号	151
神田 守隆君の質疑、当局の応答	151
委員会付託の省略	152
採決	152
議案第9号～議案第20号	153
神田 守隆君の質疑、当局の応答	153
辻田 実君の質疑、当局の応答	158
委員会付託	179
議案第21号～議案第24号	179
神田 守隆君の質疑、当局の応答	180
辻田 実君の質疑、当局の応答	187
委員会付託	198
請願第25号、請願第26号	199
委員会付託	199
延 会	199
本日の会議に付した事件	199

◎第5号（3月14日）

開 議	202
議長の報告	202
議案第1号～議案第7号	202
神田 守隆君の質疑、当局の応答	202

辻田 実君の質疑、当局の応答	217
予算審査特別委員会の設置・付託・委員の選任	242
延 会	243
本日の会議に付した事件	243

◎第6号（3月26日）

開 議	247
議案の配付	247
議案第9号～議案第13号、議案第21号	248
総務委員会委員長報告	248
採決	249
議案第14号～議案第17号、議案第22号、議案第23号	250
文教民生委員会委員長報告	250
採決	253
議案第18号～議案第20号、議案第24号	254
建設経済委員会委員長報告	254
辻田 実君の討論	256
採決	260
請願第23号、請願第25号、請願第26号	261
文教民生委員会委員長報告	262
辻田 実君の討論	263
採決	266
日程の追加・発議案第9号	266
説明	267
委員会付託の省略	268
採決	268
議案第1号～議案第7号	268
予算審査特別委員会委員長報告	269
神田 守隆君の討論	274

辻田 実君の討論	277
日下 君敏君の討論	285
採決	287
議案第25号、議案第26号	288
説明	288
委員会付託の省略	289
採決	289
議案第27号	290
説明	290
委員会付託の省略	291
採決	291
閉 会	291
本日の会議に付した事件	292

第 1 回 館山市議会定例会会議録

(第 1 号)

1 平成2年3月1日(木曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 27名

1 番	脇田 安保	2 番	永井 龍平
3 番	田沢 勝信	4 番	庄司二三男
5 番	岩村 勝弘	6 番	山崎 雅己
7 番	生稲 隆	8 番	鈴木 勝美
9 番	山口 康雄	10 番	鈴木 忠夫
11 番	神田 守隆	12 番	榎本 春光
13 番	山中金治郎	14 番	小宮 利夫
15 番	横溝 功	16 番	石井 昌治
17 番	石井 謀	18 番	日下 君敏
19 番	川名 正二	20 番	福原 勤
21 番	辻田 実	22 番	黒川 平治
23 番	流山源次郎	25 番	渡辺 昭夫
26 番	近藤 好雄	27 番	林 豊
28 番	飯田 義男		

1 欠席議員 なし

1 出席説明員

市 長 半澤 良一
収 入 役 渡辺 弘
総 務 部 長 渡辺 秀夫
経 済 部 長 安西 良一
教 育 委 員 会 長 正木 高剛
選 挙 管 理 委 員 会 長 加藤 利
監 査 委 員 鈴木 重司
農 業 委 員 会 長 斎藤 明

助 役 小倉 澄男
市長公室長 錦織 茂
民 生 部 長 小幡 清之
水 道 課 長 鈴木 信一
教 育 委 員 会 長 福原 修
選 挙 管 理 委 員 会 長 佐藤 澄雄
監 査 事 務 局 長 熊坂 桂一
農 業 事 務 局 長 岩城 昭

1 出席事務局職員

事務局 長 川上 義雄

事務局 長 補 佐 兵藤 恭一

書 記 鈴木 哲

書 記 鈴木 修一

書 記 加藤 浩一

1 議事日程（第1号）

平成2年3月1日午前10時開議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 会議日程の決定

議案第 1号 平成2年度館山市一般会計予算

議案第 2号 平成2年度館山市国民健康保険特別会計予算

議案第 3号 平成2年度館山市老人保健特別会計予算

議案第 4号 平成2年度館山市ユースホステル特別会計予算

議案第 5号 平成2年度館山市学童災害共済事業特別会計予算

議案第 6号 平成2年度館山市水道事業特別会計予算

議案第 7号 平成2年度館山市国民宿舎事業特別会計予算

議案第 8号 平成元年度館山市一般会計補正予算（第5号）
の専決処分の承認について

議案第 9号 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償
に関する条例の一部を改正する条例の制定につ
いて

議案第10号 館山市長、助役、収入役の給与及び旅費に関す
る条例の一部を改正する条例の制定について

議案第11号 館山市教育長の諸給与及び勤務条件等に関する
条例の一部を改正する条例の制定について

議案第12号 館山市ふるさと創生奨学基金条例の一部を改正
する条例の制定について

日程第4

議案第13号 財産の無償譲渡について

- 議案第14号 館山市教育兼務職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第15号 館山市立幼稚園保育料及び入園料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第16号 館山市青年館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第17号 館山市消防団条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第18号 館山市竹原及び二子治山事業分担金徴収条例の制定について
- 議案第19号 館山市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第20号 市道路線の認定、廃止及び変更について
- 議案第21号 平成元年度館山市一般会計補正予算(第6号)
- 議案第22号 平成元年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
- 議案第23号 平成元年度館山市老人保健特別会計補正予算(第3号)
- 議案第24号 平成元年度館山市国民宿舎事業特別会計補正予算(第2号)

開 会 午前10時02分

◎議長(林 豊君) 本日の出席議員数26名、これより平成2年第1回市議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

議長の報告

◎議長(林 豊君) 本定例会議案審議のため、地方自治法第121条の規定による出席要求に対し、お手元に配付のとおり出席報告がありましたので、御了承願います。

なお、監査委員から定期監査並びに平成元年12月及び平成2年1月実施の監査結果が報告されております。お手元に配付の印刷書により御了承願います。

議案の配付

◎議長（林 豊君） ただいま市長から議案並びに説明書の送付がありました。

議案並びに説明書を配付いたさせます。

配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

会議録署名議員の指名

◎議長（林 豊君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

3番議員田沢勝信君、25番議員渡辺昭夫君、以上両君を指名いたします。

会期の決定

◎議長（林 豊君） 日程第2、会期の決定を行います。

本定例会の会期につき議会運営協議会の意見は本3月1日から3月26日までの26日間ということであります。

お諮りいたします。会期を26日間と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（林 豊君） 異議なしと認めます。よって、会期は3月1日から3月26日までの26日間と決定いたしました。

会議日程の決定

◎議長（林 豊君） 日程第3、会議日程の決定を行います。

お諮りいたします。お手元に配付の会議日程表は、本定例会の大体の日取り予定であります。議会運営協議会の意見により作成いたしました。本定例会をおおむねこの会議日程表により運びますとともに、その間議案の追加

または議事の都合等によりまして、その都度これを改めることにして、大体このようにいたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(林 豊君) 御異議なしと認めます。よって、会議日程は決定いたしました。

議案の上程

◎議長(林 豊君) 日程第4、議案第1号乃至議案第24号の各議案を一括して議題といたします。

施政方針並びに提案理由の説明

◎議長(林 豊君) これより平成2年度施政方針並びに各議案に対する提案理由の説明を求めます。

半澤市長。

(市長半澤良一君登壇)

◎市長(半澤良一君) 本日、ここに3月定例市議会を招集し、平成2年度一般会計及び特別会計の予算案並びに諸議案につきまして、御審議をお願い申し上げますが、開会に当たり新年度の市政運営に関する所信を申し述べたいと存じます。

最近の我が国の財政は、内需を中心に拡大基調が持続する好調な経済に支えられ、近年改善方向にはあるものの、平成元年度末の公債残高が160兆円を上回る見込みであり、国債費が歳出予算の約2割を占めるなど、極めて厳しい状況が続いております。一方、地方財政も累積した多額の借入金残高を抱えるなど依然として厳しい状況にございます。このため、国・地方を通じて、引き続き行財政改革を進めるとともに、今後の社会経済情勢の変化に弾力的に対応できるよう、財政構造の健全化を図ることが求められているところでございます。

このような状況ではございますが、本市を中心とする南房総地域は、東京湾横断道路や東関東自動車道館山線に見られますように、本市に大きなイン

パクトを与える広域幹線道路網の整備が、着実に進展いたしております。また、長期安定的水源の確保につきましても、南部圏域広域的水道整備計画が本年度中に千葉県により策定される見込みであり、当地域にとりまして長年の念願でございました、半島性から脱却し発展に向かう基盤が次々に実現しようとしているところでございます。

これらの基盤整備に加えまして、幕張新都心の建設や上総新研究開発都市構想等、千葉県のビッグプロジェクトも着実な進展を見せる中、当地域の開発可能性は飛躍的な高まりを見せております。

私は、昭和49年以来、4期16年を通じ、一貫して「人間尊重」を基本理念とし、生活文化の向上と市民の連帯に基づく、活力ある地域社会の建設に邁進してまいりました。

この間、行財政の合理化を実行するとともに、人間性があふれ、快適で均衡のとれた都市を実現すべく、諸施策を展開してまいったのでございます。すなわち、文化教育環境の整備、都市公園や環境施設等の建設に加え、道路交通網整備や水源確保、企業誘致等により産業の活性化を図り、さらに、コミュニティ形成や人材育成、健康づくりの推奨、福祉活動の推進等に全力を傾注してまいりました。

1990年代を迎えた今日、21世紀を展望しつつ、本市を取り巻く状況の変化に対応し、開発ポテンシャルの高まりを十分に吸引できるよう、今後とも都市機能を充実させ、温暖な気候風土を生かした、海洋性リゾートタウンの建設を核とする地域振興策を積極的に推進してまいる所存でございます。

一方、本市が誇る豊かな自然を保全し、長年にわたって培われてまいりました歴史と文化を受け継ぎはぐくむことが、産業振興や都市的施設整備と一体となつてこそ、精神的にも経済的にも満ち足りた地域を築くことにつながるものでございます。このまちに住む人々が愛着を持てるまちでなければ、訪れる人々に満足してもらえるまちとはならないと考えますので、市民の参加を得て自由な発想と創造性を大切にしながら、本市の特性を十分に生かした、個性的なまちを築き上げたいと存じます。

本年度は、基本構想に基づく第1期5カ年計画の最終年であり、平成3年

度を初年度とする、次期5カ年計画策定の年でございます。これまで進めてまいりました生活環境の整備、健康福祉の充実、文化教育の向上、産業の振興、コミュニティづくりの諸施策をさらに総合的に進め、将来都市像「活力ある文化福祉都市」の実現を目指す覚悟でございます。

以上を念頭に、本年度は、まちづくりの基盤となります館山駅周辺市街地整備事業、道路交通網の整備、上水道、公共下水道、産業振興等を中心に、効率的市政運営に努めてまいります。

以下、主要事業につきまして、順次御説明申し上げます。

第1は、快適でゆとりある生活環境都市づくりでございます。

市民生活の利便性ととも、快適な環境を創出することが都市発展の基礎と考え、都市基盤の整備充実に重点的に取り組んでまいります。

まず、最優先施策でございます館山駅周辺市街地整備事業についてでございますが、西口地区土地区画整理事業につきましては、実施計画について早期に建設省の承認を得るためさらに関係機関と協議を進めてまいります。また、本年度は、一部宅地の整地、排水路改修工事等の施工、権利者の合意を得て一部仮換地を指定するなど、事業の推進を図ってまいりたいと存じます。

東口地区の市街地再開発事業では、引き続き研究会等に対する助成を通じて権利者の合意形成に努めてまいりますとともに、館山銀座商店街の整備につきましても、調査研究、合意形成活動に対し、助成してまいりたいと存じます。また、東西両地区を結ぶ自由通路につきましては、将来の橋上駅舎化を考えながら、東日本旅客鉄道株式会社や国鉄清算事業団との協議等、実現に向けて努力いたします。

道路交通網の整備につきましては、交通体系のかなめであります広域幹線道路では、一般国道127号館山バイパスが本年中に全線供用開始の予定であり、また、主要地方道館山白浜線は、バイパスの用地測量と用地取得に進む見通しでございます。東関東自動車道館山線の早期実現とあわせて、館山白浜線のバイパス早期完成と国道昇格を関係機関に強く働きかけてまいりたいと存じます。

都市計画道路でございますが、八幡高井線は、館山バイパスから市街地、

海岸への重要な路線であり、文化性と環境に配慮した道路として、本年度早々に供用開始の運びとなりました。さらに、川名大賀線も一部詳細設計を行うなど、広域幹線道路網の受け皿として整備を進めてまいります。

市道等市民生活に密着した住環境の改善にも積極的に取り組んでまいります。主要路線の改良により、増大する車両通行の円滑化と歩行者の安全に配慮するとともに、生活道の舗装、排水、河川等を整備し、生活環境の向上とリゾートタウンとして地域内基盤の充実に努めてまいります。

城山公園は、日本庭園と茶室の完成により一応の整備が終了いたします。里見の歴史をしのび、四季の花を観賞する等、市民に広く利用されるとともに、観光、文化活動の拠点として充実した機能を発揮するものと考えます。県立館山運動公園も本年度のテニスコート完成で整備計画が達成されるわけでございます。市民の利用に加え、他地域からの合宿や大会の誘致によりまして、健康づくりと地域振興に大きく役立ててまいります。

市営住宅につきましては、老朽化しております大賀住宅を年次的に整備するため、本年度から移住先としての真倉住宅の建設を計画してまいります。

上水道についてでございますが、本年度は、利根川水系から安房、夷隅地域への導水を内容とする、南部圏域広域的水道整備計画が県により策定されるとともに、南房総広域水道企業団も設立の予定でございます。これによりまして、平成7年度を通水目標とした長期安定的水源を確保できる見通しがついたのでございます。一方、市営水道も浄水、配水能力の向上及び原水の確保等、給水体制を整備してまいります。

次に、懸案の公共下水道でございますが、より積極的に事業を推進するため、本年度は、新たな組織を経済部内に設置いたします。生活環境の改善と公共用水域の汚濁防止を目指し、住民合意の形成等、事業化の準備に全力で取り組んでまいります。

環境対策といたしまして、まず、公共用水域の浄化でございますが、主要排水路の汚濁量調査を実施し、浄化処理方式を検討するほか、引き続き浄化意識の高揚対策を推進するとともに、小型合併処理浄化槽の普及や水質検査、河川・排水路の滅菌等に努めてまいります。また、本年度から、古紙・雑誌

類の分別収集を試み、再資源化を促進してまいります。

第2は、温かい心の通う健康福祉都市づくりでございます。

すべての市民が、「こころ」と「からだ」の健康を保持し、快適に生活できることが、安心して暮らせる明るい地域社会を形成するものと考えます。

まず、健康づくりでございますが、各種検診の受診率向上のため、年齢階層別にきめ細かく受診を勧奨してまいります。また、高血圧症、肥満、糖尿病といったいわゆる習慣病は、若いときからの生活習慣に起因すると言われておりますので、食生活改善のため、健康教育や健康相談を充実してまいります。昨年「長寿健康都市」を宣言いたしましたが、健康づくり推進事業として「ヘルスパイオニアタウン事業」を実施し、「自分の健康は自分でつくり、自分で守る」の意識高揚を図ってまいります。

これらの施策を総合的に推進し、健康で活力ある長寿社会の実現を目指してまいりたいと存じます。

スポーツ・レクリエーションにつきましては、市民が楽しく、気軽に参加できる各種教室や大会の開催、スポーツ団体、指導者の育成を通じ、生涯スポーツの観点から市民の健康、体力づくりの推進とスポーツの底辺拡大と普及を図ってまいります。本年度は、県民体育大会として剣道、体操、軟式テニス、バスケットボールの各競技が館山市を会場に開催されます。また、年々参加者がふえております「館山若潮マラソン大会」を引き続き実施するなど、スポーツイベントを通じて、健康意識の高揚と誘客、さらに本市のイメージを向上させてまいります。

市民福祉の充実といたしましては、社会的に弱い立場に置かれている人々に対する、地域の人たちの温かい心の通うサービスが、心豊かな福祉社会の実現に必要であると考え、ボランティア活動を初め、社会福祉協議会と協力しながら地域ぐるみの福祉活動を推進してまいります。人口の高齢化が進む中で高齢者が自らの経験と能力を生かして、就労を通して生きがいのある充実した生活を送れるよう高齢者事業団を設置いたします。さらに、高齢者の方々や心身に障害を持つ方々に対しましては、家庭奉仕員の派遣や移動入浴車による入浴サービス、あるいは在宅老人短期入所事業、さらには福祉タク

シー利用助成制度等、それぞれの制度を活用した在宅福祉を推進してまいります。

第3は、地域の個性が生きる人間性豊かな文化教育都市づくりでございます。

魅力ある個性的な地域文化は、市民があらゆる機会を通じて自主性と創造力をはぐくむことによって形成されるものと考えます。

まず、学校教育でございますが、高い知性と豊かな情操を備えた、心身ともに健全な児童生徒の育成があすの館山を築くまちづくりの礎であると考えます。このため、1人1人の個性と能力を十分引き出すべく、教育環境の整備、教育内容の充実に努めてまいりました。引き続き本年度も北条小学校の大規模改修並びに各小中学校及び幼稚園の施設・設備を改修してまいります。また、教職員研修体制を充実させるため教育センター研修室を増築いたします。さらに奨学資金制度を充実させ、あすの館山を担う優秀な人材を育成してまいります。

社会教育につきましては、人生80年時代の到来、余暇時間の増大などを背景に、心の豊かさや生きがいを求め、生涯を通じての学習に対する要請は、ますます高度化、多様化してきているところでございます。地区公民館に専任書記を配置し、活動しやすい環境を整えるほか、各種生涯学習講座や市民大学など学習機会の提供に努めるとともに、社会教育団体の自主的活動を助成し、その育成を図るなど生涯学習活動を推進してまいります。

青少年育成といたしまして、広く世界を見聞して視野を広めるとともに、国際的な感覚を培い、未来を担う人材を育成するため、館山市ふるさと創生人材育成基金を活用して青少年海外派遣事業を実施いたします。

豊かな文化環境の創造でございますが、人々の心にゆとりや潤いをもたらす、さまざまな文化に接する機会を拡充するため、引き続き造形作品の設置や音楽鑑賞機会の提供等の事業を推進してまいります。博物館におきましては、館山市の歴史と民俗に関する学術センターとしての機能を充実させるため、資料の収集と展示を一層充実させるとともに、企画展等を開催してまいります。また、国際民族音楽フェスティバルを継続して開催し、新たな文化

の創出を通じて、誘客とリゾート地としてのイメージアップに努めたいと存じます。

第4は、創造力と活力に満ちた産業都市づくりでございます。

豊かな地域経済は、市民生活に活力と潤いをもたらすものと考えますので、リゾート計画の推進とあわせ、地域産業の経営の安定、さらには拡大、発展を目指し、基盤整備や経営の近代化を推進してまいり所存でございます。

海洋性リゾートタウン計画では、海と空の交通手段の検討や地域イメージの統一を図りながら、「房総リゾート地域整備構想」に基づく諸計画の推進、ウェルネス・リゾートパーク及びアトラクティブ鏡ヶ浦基本計画の実現に向けまして、質の高いリゾート地の形成に努力してまいります。

農業は、農業経営の根幹であります主要農道、ほ場等の生産基盤を整備するとともに、野菜、花卉類の生産、集出荷施設の充実強化を進め、経営の近代化及び生産性の高い農業の振興を推進してまいります。さらには、農業体験を主とした交流促進事業を推進して活力ある農村社会を形成してまいります。

水産業は、漁港及び漁港周辺の環境整備並びに漁業者の集会・研修施設としての漁業協同館の建設を初めとする関連施設を充実させてまいります。また、「つくり育てる漁業」を基本姿勢に、磯根資源を増大させるため、種苗放流や魚礁設置を進め、漁場生産力を高めるとともに、漁獲物の付加価値を高めるため、蓄養施設を整備するなど漁業協同組合の経営基盤を強化し、漁業経営を安定させてまいりたいと存じます。

さらに、昨年度に引き続きまして「産業まつり」を実施し、地元製品の普及及び販路の拡大に努めてまいります。

商工業につきましては、商工業者の設備投資に対する融資や利子補給などを通じて、経営の合理化、近代化を促進するとともに、助成等により消費者ニーズに呼応した魅力ある商店街の形成に努めてまいります。一方、新たな企業誘致を促進するため、「館山インダストリアルパーク」の整備について検討してまいります。

また、商工会議所及び商店会連合会等の関係団体に対して助成し、活動の

強化充実を促進して商工業の振興を図ってまいります。

観光につきましては、恵まれたあらゆる資源を有機的に結びつけ、地域の特性を積極的に生かした魅力を創出して、観光関連産業を育成強化してまいります。また、本年度は、新たにビーチクリーナーを購入いたしまして、本市の大きな観光資源である海岸の美化を促進してまいりますとともに「日本の道百選」及び「白砂青松百選」に選ばれたフラワーライン沿道の植栽を進め、地域イメージの高揚を推進してまいります。

さらに、関係団体と協力して、四季を通してのイベントをより一層充実、強化するとともに、南房総館山市の広域的な宣伝を展開してまいります。

第5は、自立と連帯で築くコミュニティ都市づくりでございます。

魅力あるまちづくりを進めるには、市民自治の確立を目指したコミュニティ活動の高揚を図り、市民の連帯意識と参加意識の醸成が必要であると考えます。

このため、コミュニティ集会施設整備等の補助、活動の援助、館山市ふるさと創生人材育成基金を活用して活動の中心となるべき地域リーダーの養成に努めてまいります。

また、コミュニティ連絡協議会や町内会連合協議会などの関係団体及び関係機関と共同して、住みよい環境づくりを目指した「クリーン・アンド・ビューティフル運動」を、より一層地域に根差した運動となるよう積極的に推進してまいります。

以上の施策を中心といたしまして、平成2年度館山市一般会計予算の編成を行いました結果、歳入歳出予算の総額は、115億3,500万円で、前年度に対し、6億3,073万余円、5.8%の増となっております。

歳入予算の内容についてでございますが、社会経済情勢や国・県の予算編成の動向、地方財政計画、本市の現状及び過去の収入実績などを十分配慮し算定いたしました。

まず、市税では、平成2年度の税制改正等を勘案いたしまして、56億9,490万円を計上いたしましたほか、地方譲与税3億6,600万円、地方交付税17億3,400万円、分担金及び負担金1億8,599万余円、使用料及び手数料3億

3,877万円、国庫支出金8億3,650万余円、県支出金4億6,340万円、繰入金は、財政調整基金の活用を含め3億9,415万円、諸収入3億5,119万余円、市債5億円、その他6億7,008万余円を計上いたしました。

次に、歳出予算についてでございますが、長期的な展望に立ち、計画事業を着実に達成することを基本姿勢といたしまして、都市基盤整備等市民生活を優先する施策の選択に配慮するとともに、限られた財源の重点的かつ効率的配分に意を用い通年型予算を編成いたしました。

まず、性質別の内容についてでございますが、人件費31億4,433万余円、物件費13億7,491万余円、扶助費10億827万余円、普通建設事業費27億2,570万余円、公債費11億6,317万余円、その他21億1,859万円となっております。

以下、各款別に申し上げます。

第1款議会費は、議会運営に要する経費といたしまして、2億1,277万余円。

第2款総務費は、一般管理費、文書広報費、防災、防犯、交通関係費、徴税費と10月に実施されます国勢調査にかかわる経費等を中心に、16億9,945万余円。

第3款民生費は、ボランティア活動を初めとする地域ぐるみの福祉活動費、長寿社会に対応する老人福祉対策、児童福祉対策、生活保護費等を中心に、18億53万余円。

第4款衛生費は、各種検診等健康の保持増進対策、公共用水域の浄化対策、清掃・衛生施設の維持管理費、水道事業に対する繰出金等を中心に、11億1,461万余円。

第5款労働費は、勤労者の厚生対策、各種団体への補助金等の経費で、787万余円。

第6款農林水産業費は、生産基盤整備のための農道整備及び土地改良事業、水産資源の確保や生産基盤整備としての漁港整備等を中心に、5億920万余円。

第7款商工費は、商工団体への補助や中小企業融資等商工業振興対策、観

光行事への補助等観光振興対策、観光地美化事業等を中心に、2億2,695万余円。

第8款土木費は、道路、公共下水道、都市下水路、館山駅周辺市街地整備及び都市公園整備等を中心に、23億8,786万余円。

第9款消防費は、消防施設整備、消防団関係費、広域消防に係る負担金等を中心に、5億2,056万余円。

第10款教育費は、継続して実施している北条小学校校舎等改修工事のほか、各学校及び幼稚園施設の整備、維持管理、教育センター施設整備、文化振興対策、公民館費、図書館費、市民センター費、博物館費、各種スポーツ振興対策等を中心に、15億1,337万余円をそれぞれ計上いたしました。

このほか、第11款災害復旧費、第12款公債費、第13款諸支出金及び第14款予備費において、計15億4,177万余円を計上いたしました。

次に、債務負担行為といたしまして、館山市農業協同組合が農道整備資金といたしまして、農林漁業金融公庫から融資を受けた借入金の償還に対する補助につきまして設定いたしました。地方債といたしまして、道路整備事業を初め8件を予定し、一時借入金につきましては、最高限度を10億円といたしました。

以上が議案第1号の概要でございますが、次に議案第2号から順次その概要を申し上げます。

まず、議案第2号平成2年度館山市国民健康保険特別会計予算でございますが、歳出につきまして、医療費及び老人保健拠出金の過去の実績等を考慮いたしますとともに、歳入につきまして、一般会計及び保険基盤安定制度による繰り入れ措置を講じ、その結果、歳入歳出それぞれ31億2,693万余円を計上いたしました。

次に、議案第3号平成2年度館山市老人保健特別会計予算でございますが、老人医療費の過去の実績等を勘案し、一般会計からの繰入金1億4,916万余円を含めまして、歳入歳出それぞれ30億2,774万円を計上いたしました。

次に、議案第4号平成2年度館山市ユースホステル特別会計予算でございますが、運営経費といたしまして、歳入歳出それぞれ2,526万余円を計上い

たしました。

次に、議案第5号平成2年度館山市学童災害共済事業特別会計予算でございますが、歳入歳出それぞれ206万余円を計上いたしました。

次に、議案第6号平成2年度館山市水道事業特別会計予算でございますが、収益的収入といたしまして、水道料金、受託工事収益等6億8,580万余円、収益的支出といたしまして、営業費用、企業債利息等で6億8,413万余円、また、資本的収入といたしまして、一般会計からの出資金及び加入者分担金等で7,645万余円、資本的支出といたしまして、水道施設工事費等建設改良費及び企業債償還金等で1億6,017万余円を計上いたしました。

次に、議案第7号平成2年度館山市国民宿舎事業特別会計予算でございますが、収益的収入といたしまして、宿泊料、食事料等で1億9,515万余円、収益的支出といたしまして、宿舎経営費等営業費用及び支払利息等で1億8,885万余円、資本的支出といたしまして、企業債償還金等で937万余円を計上いたしました。

以上、各会計の平成2年度予算の概要につきまして御説明申し上げましたが、一般会計及び特別会計予算総額は、187億5,953万余円でございます。

次に、議案第8号平成元年度館山市一般会計補正予算（第5号）の専決処分の承認についてでございますが、平成2年1月24日に衆議院が解散されまして、平成2年2月18日に衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査が実施されました。この執行経費についての補正予算を平成2年1月25日に、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分いたしましたので、議会に報告し、その承認を求めようとするものでございます。

次に、議案第9号非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、現行の報酬額は平成元年4月に改定されたものでございますが、一般職の給与改定、県内各市との均衡、過去の改定経緯等を考慮いたしまして、市議会議員に関する報酬額につきましては、館山市特別職報酬等審議会に諮問いたしましたところ、改定の額及び時期とも適当である旨の答申を得ましたので、この答申を尊重し、本年4月1日から報酬額を改定しようとするものでございます。また、

各種行政委員会の委員及びその他の特別職の報酬額につきましても、本年4月1日から改定しようとするものでございます。

次に、議案第10号館山市長、助役、収入役の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、昨年4月に改定いたしました現行の給料額につきまして、一般職の給与改定、県内各市との均衡、過去における給料額改定の経緯等を考慮いたしまして、館山市特別職報酬等審議会に諮問いたしましたところ、改定の額及び時期とも適当である旨の答申を得ましたので、本年4月1日から改定しようとするものでございます。

次に、議案第11号館山市教育長の諸給与及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、教育長の給料につきましても、今回、収入役の給料と同額にしようとするものでございます。

次に、議案第12号館山市ふるさと創生奨学基金条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、現在、福祉事務所が主管となっております館山市奨学基金の設置及び管理に関する条例を廃止し、それに係る基金については、館山市ふるさと創生奨学基金に承継しようとするものでございます。

次に、議案第13号財産の無償譲渡についてでございますが、本議案は、議案第16号館山市青年館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてと関連がございますが、設置後20年を経過した4青年館を地元が無償譲渡しようとするため、地方自治法第237条第2項の規定により、議会の議決を求めようとするものでございます。

次に、議案第14号館山市教育兼務職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、幼稚園長兼務手当及び地区公民館書記兼務手当につきましても、他の特別職の職員と同様、本年4月1日から手当額を改定しようとするものでございます。

次に、議案第15号館山市立幼稚園保育料及び入園料徴収条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、国の基準に合わせまして保育料及び入園料を改定しようとするものでございます。改正の内容でございますが、保育料につきましては、一月につき現行4,400円を4,700円に、入園料につきましては、1回につき現行7,200円を8,000円に改めようとするもので、

経過措置といたしまして、5歳児の保育料につきましては平成2年度に限り据え置くものとし、本年4月1日から施行しようとするものでございます。

次に、議案第16号館山市青年館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、設置後20年を経過した4青年館につきまして、これを廃止し、多面的な利用を図るため、地域のコミュニティ集合施設として地元に払い下げしようとするものでございます。

次に、議案第17号館山市消防団条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、団員の報酬額及び費用弁償額につきまして、県内各市及び近隣町村との均衡等を考慮いたしまして、本年4月1日から改定しようとするものでございます。

次に、議案第18号館山市竹原及び二子治山事業分担金徴収条例の制定についてでございますが、昭和63年9月25日から28日まで及び平成元年8月1日の豪雨により、竹原地区及び二子地区の山林斜面が崩壊する被害がありましたので、その修復工事を県の補助を受けて実施することに伴う受益者の負担について、新たに分担金徴収条例を制定しようとするものでございます。

次に、議案第19号館山市都市公園条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、今年度、都市公園であります城山公園内に茶室を建設いたしました。施設の使用につきましては、有料といたしたく有料公園施設として本条例に追加し、使用料を定めようとするものでございます。このほか、条文の整備をお願いしようとするものでございます。

次に、議案第20号市道路線の認定、廃止及び変更についてでございますが、市道1221号線外4路線を認定し、市道2063号線外1路線を廃止し、市道1199号線外3路線を変更しようとするものでございます。

次に、議案第21号平成元年度館山市一般会計補正予算（第6号）でございますが、歳入歳出それぞれ3億8,304万4,000円を追加し、総額124億2,105万4,000円としようとするものでございます。

歳出予算の追加の主なものといたしましては、総務費では南部地域広域水道企業団設立促進協議会への出張職員負担金で150万4,000円、館山市減債基金積立金で5,123万2,000円、これは、運用利子のほか、地方交付税にお

きまして、昭和56年度借入分の財源対策債につきまして、財源対策債償還基金費として平成元年度末の元金残高相当額が基準財政需要額に追加措置される見込みによるものでございます。また、地方バス路線を維持するための補助金といたしまして 271万 5,000円、民生費では、社会福祉活動に資するため社会福祉振興基金助成金で 1,096万 5,000円、重度障害者等福祉手当で、月額単価の改定及び支給対象者の増によりまして、165万 8,000円、老人保健特別会計繰出金で 2,685万 9,000円、これは、老人医療費に伴う支払基金交付金及び国・県負担金の交付が一部翌年度精算となることに伴い、一般会計で一時補てんするためのものでございます。また、児童福祉法第51条による措置委託料で、入所児童世帯の所得階層の変動によりまして、167万 5,000円、観光費では、県道南安房公園線の道路環境整備工事の増に伴いまして、負担金で 2,750万円、国民宿舎事業の経営健全化を図るための出資金で1億円、土木費では、館山運動公園整備事業で事業内容の変更に伴いまして、負担金で 1,889万 6,000円、教育費では、造形作品購入費で 257万 5,000円、諸支出金では、財政調整基金で積み立て及び運用利子の増によりまして、積立金で3億 961万 9,000円、庁舎建設基金で運用利子の積立金で 847万円。

次に、歳出予算の減額の主なものといたしましては、総務費では、退職者の変動によりまして、千葉県市町村総合事務組合負担金で 275万 1,000円、衛生費では、インフルエンザ予防接種者等の減によりまして、薬品購入費で 240万 9,000円、がん検診委託料で受診者数の減によりまして 543万円、清掃センター及び粗大ごみ処理施設の電気使用料で 350万円、衛生センターの污泥焼却用燃料費で 550万円、電気使用料で 380万円、三芳水道企業団負担金で 939万円、これは、給水原価が補助基準に達しない見込みによるもの等でございます。農林水産業費では、沼地区団体営土地改良総合整備事業で事業内容の変更にによりまして、補助金で 655万 2,000円、船形漁港修築工事で事業内容が変更したことに伴いまして、負担金で 450万円、土木費では県道改良等工事で事業内容等の変更に伴いまして、負担金で 579万 6,000円、踏切道改修工事でJR側の精算見込みに伴いまして、負担金で 350万円、館山駅東口地区市街地再開発等基本計画作成委託料で 350万円、沼地地盤改良工

事請負費で 3,200万円、これらは未執行によるものでございます。また、地権者との交渉が不調であったこと等によりまして、市街地整備用地購入費で 3,337万円、さらに地上物件等補償費で 1,509万 3,000円、入札残及び事業内容の変更によりまして、下水路等工事請負費で 551万 8,000円、地域排水整備事業で県の事業費変更によりまして、負担金で 292万 7,000円、消防費では事業量の変更によりまして、防火水槽建設工事請負費で 682万 4,000円、教育費では、要保護及び準要保護生徒援助費で、支給対象生徒数の減によりまして 309万 4,000円、楽器購入費で入札残によりまして 266万 6,000円。

また、各款における人件費の補正でございますが、これは、職員手当の増減等によるものでございます。

以上、歳出の主な内容につきまして御説明申し上げましたが、これらの財源といたしまして、市税、地方交付税、財産収入等により充当しようとするものでございます。

このほか、市道1031号線道路改良事業及び土木施設災害復旧事業につきまして、一部年度内の完了が困難となりましたので繰越明許費の設定、農道整備事業に係る農道整備資金の償還に対する補助限度額の変更につきまして債務負担行為の補正、また、土木施設災害復旧事業を含め、5事業につきまして地方債の補正をお願いするものでございます。

次に、議案第22号平成元年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）でございますが、財政調整基金運用利子の増に伴いまして、積立金で 242万 3,000円の追加をお願いするものでございます。

次に、議案第23号平成元年度館山市老人保健特別会計補正予算（第3号）でございますが、歳入歳出それぞれ1億 3,896万 5,000円を減額し、総額28億 4,803万円としようとするものでございます。主な歳出といたしまして、医療給付費で1件当たり平均単価の減によりまして1億 3,722万 9,000円の減、主な歳入といたしまして支払基金交付金、国・県支出金で1億 6,623万 1,000円の減となりますので、補正財源といたしまして、議案第21号で申し上げました、一般会計からの繰入金 2,685万 9,000円をもって充てようとするものでございます。

次に、議案第24号平成元年度館山市国民宿舎事業特別会計補正予算（第2号）でございますが、資本的支出におきまして、他会計等借入金償還金で1億円の追加、これは、議案第21号で御説明申し上げました、一般会計からの出資金によりまして実施しようとするものでございます。

以上、私の所信と諸議案を御説明申し上げましたが、半島性を打破する基盤も着々と整備が進み、リゾート地として注目を集める今日を地域発展の好機ととらえ、「活力ある文化福祉都市」の実現に向けて、全力を傾注する所存でございます。

なお、詳細につきましては、御質問に応じ、私または事務担当者からお答えいたしたいと存じます。また、この会期中に追加議案といたしまして、館山市助役の選任について上程をお願いする予定でございます。

よろしく御審議くださるようお願い申し上げます。

また、市制施行50周年も、この3月をもちまして、成功のうちに終了しようとしております。これもひとえに市議会議員の皆様方を初め、各種団体、市民各位に企画から実行まで、あらゆる段階で御協力をいただいたおかげでございます。厚く感謝申し上げますとともに、今後とも市政全般にわたり、皆様方の一層の御理解と御協力をお願い申し上げる次第でございます。

ありがとうございました。

◎議長（林 豊君） 以上で市長の施政方針並びに提案理由の説明を終わります。

延 会 午前10時56分

◎議長（林 豊君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（林 豊君） ご異議なしと認めます。よって、本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明3月2日から7日まで議案調査のため休会、次会は3月8日午前

10時開会とし、その議事は通告による行政一般質問を行います。

この際、申し上げます。行政一般質問の締め切りは3月5日正午、一般議案及び補正予算に対する質疑通告の締め切りは3月8日正午でありますので、申し添えます。

◎本日の会議に付した事件

- 1 会議録署名議員の指名
- 1 会期の決定
- 1 会議日程の決定
- 1 議案第1号乃至議案第24号